


【件名】	環2築地虎ノ門トンネル仕上げ工事その2（2—環2築地・虎ノ門）	【事務所名】	第一建設事務所	
【工事場所】	東京都中央区築地五丁目地内から港区虎ノ門一丁目地内まで 環状第2号線	【受注者名】	松井建設株式会社	
【工期】	令和3年1月25日から令和4年7月8日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 加藤 賢一	

【工事概要】

工事延長（築地工区）L=946.0m（虎ノ門工区）L=368.9m
 調整コンクリート工 9,915㎡、視線誘導壁面塗装工 7,174㎡
 監査路ハットレール工 1,921.4m、多条敷設電線管工 5,119.4m
 アスファルト舗装工(50型) 906㎡、コンクリート舗装工(7型) 2,153㎡

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は、交通開放に向けたトンネル内の仕上げ工事であり、狭隘かつ設備工事など複数の受注者が競合する現場であったが、他工事との施工時期や施工箇所の調整を主体的かつ綿密に行うことで、週休2日制工事に取り組みながらも、全体の工程短縮に貢献するとともに、交通開放に遅れを生じさせることなく工事を完了させた。

また、他工事との資機材の搬出入車両や資機材置場の管理など現場内の安全管理も主体的に調整を行うことで、無事故で完成させるとともに、現場内は常に整理整頓され、清掃も行き届いているなど他の模範となる現場であった。

さらに、平坦性の確保が重要である車道部の調整コンクリート工においては、打設時にパイプレーザーを用いた高さ管理や、表面仕上げに専用の機械鏝を使用するなどきめ細かな施工を行うことで、高い品質を確保するとともに、3D測量を用いて視覚的に出来形管理を行うなど、仕上がりも非常に良好であった。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

調整コンクリート打設について、打設箇所が多く延長も長い、また搬入出車両の導線を確保しつつ八方塞がりにならないような打設順序を計画することに苦労しました。

◇ 特に工夫した点

調整コンクリート打設における出来形管理について、トンネル内で縦横勾配が有り丁張設置が困難な為、パイプレーザーを使用して高さの管理を行いました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

東京都の事業の中でも重要な事業である環状第2号線の一角を担うことはやりがいがありましたし、調整コンクリート打設完了の際には大きな達成感がありました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

土木工事には公共のものを造り人々の生活環境を整備し、より安全且つ快適に使用してもらおうものがあります。そういったものを造ることで得られる達成感他の仕事では得られないものだと思いますので、ぜひ味わってほしいです。



調整コンクリート打設状況